

J-Trial冬 第3弾



チョークアート

←KUMAKIさんの作品です

令和5年12月14日(木)に
チョークアートプロ講師の
KUMAKIさんを本校にお招きし、
参加者はドーナツの絵を描き
ました。思わず食べたくなる
ような出来でした。

オーストラリアでこのアート
を学ばれた先生に弟子入り
されたKUMAKIさんはプロコース
で学ばれ、チョークアート
プロとプロチョークアート講
師の資格を取得されたのです。

準備物

○12cm×12cmの黒板、○油分
をたくさん含んだ5色のチョーク、
○消しゴム、○黒色鉛筆、
○指やチョークについた色を
拭う布、○試し描き用の5cm
×5cmの黒板、○刷毛、○マ
ニュアルです。すべて講師が
準備してくれました。



まず、薄くピンクを

作成手順

下描きの線画に色を置いて
いく作業です。ピンク色のク
リームがのったドーナツの
絵を作成します。

①ピンクのクリーム部分は
薄くピンク色をつけ、その上
に白色を乗せます。



白色をのせます

- ②白色とピンクの部分をなじ
ませる作業。
- ③指でこすると上手くグラデー
ションができていきます。
- ④白の部分が一段と飛び出し
ているように見えます。
- ⑤クリームが茶色のドーナツ
にのっているように見えるよ
うに影をつけます。
- ⑥チョコランチを白の部分
に散らして、よりおいしそう
にします。



いよいよ完成です

⑦Donuts(ドーナツ)のロゴと
背景に装飾を加えて完成です。



KUMAKIさんの作品です→

最後に

生徒たちの黒板にはおいし
そうなドーナツが踊ります。

1時間ちょっとの取り組みで
すばらしい作品ができ、みん
な大満足でした。この顔を見
てください

参加者の感想と作品

○はじめて本格
的なチョークア
ートをやってみ
て、学校のチョ
ークとは全然ち
がうところ(発
色、描き心地、
ぼかせる具合
など)が多くて
驚いた。先生が
資料を使ったり
してわかりやす
く教えてくれた
から楽しく行っ
てきました。



○手がとても汚
れましたが、質
感の出し方やリ
アルに描く方法
を学べて良かった
です。自分の絵
の実力も知るこ
とができました
。でも楽しく描
くのが一番です
ね。短い時間
でしたが学べる
ことがたくさん
ありました。あり
がとうございました。

○チョークアート
はとても楽しか
った。難しいと
思っていたが、
意外にそこまで
難しくなかった
。最後の真ん中
のところに暗い
赤と白の色をつ
けるのが難しか
った。先生の描
いていた絵がと
ても上手くて、
ワンチャンの絵
が毛並みもリアル
で、すごかった
。また、自分も
材料を揃えられ
たら自分でやっ
てみたい。